

親和会 だより

令和5年夏号 No21 発行・令和5年7月吉日

親和会の基本理念

私たちは、利用者の個人の尊厳を大切に、障害者が地域の中で自分らしく生きるための支援を行うとともに、地域に開かれ信頼される法人運営をめざします。

社会福祉法人 親和会
理事長 山本 久喜
〒997-0024
鶴岡市朝陽町4-10
(法人本部)
TEL: 0235-64-1769
FAX: 0235-24-5335
Mail: info@sinwa-kai.or.jp
H P: http://sinwa-kai.jp

※ 書家の梅津玄雲氏(元さごし利用者)に揮毫していただきました。

事業所紹介 就労継続支援B型事業所さんのう

就労継続支援B型事業所「さんのう」は平成27年に開所し今年で8年になります。現在、通所利用者22名(定員20名)と職員7名で活動しています。

事業所は、住宅街の、とても静かな場所に位置し、近くには山王神社があります。

作業は、菓子箱折り、ワイヤーの計量、ハーネス、コアカバー組立、ハンガー拭き、電子部品組立等を行っています。

外勤は、古紙分別や清掃、農作業などに行っています。

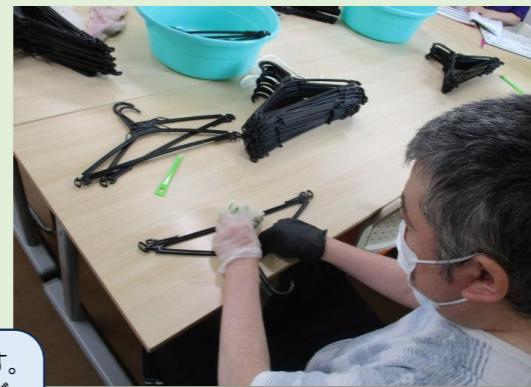
冬になると近所の方から除雪を依頼されることもあります。

今年は久しぶりに鶴岡公園に花見に出かけました。皆さん、とても喜んでいました。

これからも利用者さん一人一人に合った作業の提供を心掛け、やりがいと楽しみを感じてもらえるように作業や行事を行っています。



さんのう 外観



作業の様子です。皆さん、やりがいをもって作業しています。



さんのうの庭に植えた花。癒されます～



令和4年度事業報告が決定しました

今年6月に開催された第1回理事会・評議員会で、令和4年度の「事業報告」が決定しました。前年度を総括し、今年度の運営に活かすための重要な決定です。

以下、事業報告の要旨をご紹介します。

▶はじめに

・ 今後はウィズコロナとして利用者支援や事業運営に取り組んでいくことが必要。

▶利用者支援向上と利用者の安全・安心な日常生活の確保について

- ・ コロナ禍にあっても、就労継続支援・生活訓練ともに質の高いサービスの提供をめざして日々の業務にあたってきた。職員がより良い支援を実践する中で、利用者は安定的に通所、作業等に取り組んできた。
- ・ グループホームでは、入居者の重度化・高齢化、トラブル等に対処するとともに、安全・安心な生活支援の充実・強化に努めてきた。酒田グループホーム「ポプラ」は令和5年2月に移転した。
- ・ 相談支援事業所では、利用者やその家族に寄り添ったサービス等利用計画相談・支援継続、モニタリング等に取り組んできた。

▶事業運営全般について

- ・ 3年にわたったコロナ禍は、当法人にも少なからぬ影響を与えた。特に令和3年度に顕著に表れたが、令和4年度はその影響も薄れ、全体としてはコロナ禍前の状況に戻っている。
- ・ グループホーム夜間支援従事者配置は、今後も継続する。
- ・ 居宅介護事業所(ヘルパーステーションしんわかい)は、令和4年度をもって事業を廃止した。
- ・ 生活介護事業所の新設に向けて、3～4年程度の長期的視野をもって、引き続き検討する。
- ・ 虐待防止委員会は令和4年3月設置した。引き続き取り組みを強める。
- ・ 地域における公益的な取り組みについては「庄内の海クリーンアップ(海岸清掃)活動」(仮称)に取り組むことにした。

▶職員の資質向上と働きがいのある職場環境の確立について

- ・ 職員は現在78名、職員の資質向上と働きがいのある職場環境の確立にむけ努めてきた。
- ・ 職員への各種研修等については、この1年の間にウェブ研修から集合研修スタイルに少しずつ広がりを見せてきている。法人内の役職員全体研修会は見送らざるを得なかった。
- ・ 人事・労務管理面では、全職員から「職員調書」を提出してもらい、ヒアリングを実施した。交付金や加算による、職員の処遇改善も図った。
- ・ 毎月開催の所長・部課長会議で、利用者支援向上と質の高いサービス提供、職員の資質向上、働きがいのある職場環境づくりについて周知徹底を図ってきた。

▶地域や関係団体との協力共同・連携の強化について

- ・ 令和5年度は、庄内障がい者地域支援親和会総会(家族会)を開催の方向で検討する。
- ・ 鶴岡地区障害者通所施設協議会では、障がい者や障がい者事業所の抱える問題、この地域の課題について議論を深めることができた。
- ・ 社会福祉法人きょうされん加盟団体として、障がい福祉についての法制度拡充を求める請願署名、新型コロナウイルス感染症に関わる要望活動にとりくんだ。

親和会って、前年度にこんなことをしたんだね。

すごいいう～

親和会 こんなところが良い!

親和会では、利用者の方にアンケートを実施しました。アンケートの回答から、親和会の「良さ」に改めて気づくことができました。
以下、アンケートに書かれた利用者の「声」を紹介します。

1、事業所に通所して楽しいことは何ですか？

| | | |
|----|-------------|-----|
| 1位 | 食事 | 21票 |
| 2位 | 行事・レクリエーション | 20票 |
| 3位 | 作業 | 17票 |
| 4位 | 送迎 | 4票 |
| 4位 | その他 | 4票 |
| 6位 | 帰りの会 | 3票 |
| 6位 | 掃除 | 3票 |
| 8位 | 朝の会 | 2票 |



レクリエーションでの昼食

食事は、200円でおいしいものが食べられて嬉しいという声が聞かれました。
行事・レクリエーションは、自分で行くことができない場所に行ける、他の利用者さんとの交流がある、楽しいなどの声がありました。
作業は、皆で作業を完成した時に達成感がある、作業をすることでチャレンジや一日の流れを勉強できる等の声が聞かれました。
さらには、「事業所に通っていることが楽しい」という嬉しい声も。いじめもなく、職員の感じや対応が良いという意見もありました。
多くの方が、事業所で過ごす時間にやりがいや楽しみを見つけている様子がうかがえます。

2、事業所以外での楽しみは何ですか？

| | | |
|----|------------|-----|
| 1位 | テレビ・ラジオ・新聞 | 23票 |
| 2位 | 食事 | 20票 |
| 3位 | 読書 | 5票 |
| 3位 | 遊び | 4票 |
| 5位 | 家事 | 4票 |
| 5位 | 旅行 | 4票 |
| 5位 | 趣味・サークル | 4票 |
| 5位 | その他 | 4票 |



作業の様子

休日は食事を楽しんだり、テレビやラジオ、新聞に触れる、趣味や読書等に没頭したりすることで、気分転換や癒し、体調を整えるために過ごしている方が多くいました。

3、事業所に通所して良かったことは何ですか？

「自分一人ではないと思える」「対人関係がよくなりました」「社会参加ができること」など、利用者同士の交流や対人関係の向上、社会参加ができることなどに良さを感じる人が多くいました。
「昼夜逆転にならなかったこと」「病気の快復」など、通所したことで体調の維持・管理ができることを上げた方もいました。
また、「働いてお金がもらえる」「いろいろな仕事ができ楽しい」など、作業や工賃の受給などを上げる方もいました。

4、グループホームに入所して良かったことは何ですか？

「孤独じゃないこと」「他人でも家族同様に思えるときもある」等、集団生活ならではの声がありました。また「規則正しい生活ができた」「食事ができる」等、日常生活がサポートされることが良いという意見がありました。「具合が悪いときに助けてもらえる」等、援助体制に対する安心感も声として上がりました。
対人関係で不満をもらす人もいましたが、利用者の「生活」をサポートするというグループホームの役割はおおむね果たせているものと思います。

ご協力ありがとうございました。

七夕 Tanabata

あすか・生活訓練で作りました!



あすかの生活訓練では、みんなで七夕の飾りをつくりました。
「織姫と彦星が逢えますように」「健康で笑って暮らしたい」「やせる」など、めいめいの思いを短冊にしました。
願いが
叶いますように!



俳句あれこれ

あすま 職業指導員
ちゅうばち さいに
仲鉢 彩子 さん

はじめまして

7月からお世話になってます。就労支援施設での経験はなく、初めての職種で戸惑いと緊張の毎日ですが、先輩職員・利用者の皆様からいろいろ教えていただきながら仕事を覚えています。
一日でも早く力になれるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



冷房が効いて、涼しく快適なビル。その快適さの反面、なにか災害が起これば、たくさんの方が被災者となりうる。「冷房」(快適な生活)という日常に「非常口」(災害)という非日常が、実はひそんでいるという事に気づかせてくれる作品である。(M・S)

冷房のビルいくつもの非常口
小田島 渚